

## EK ダクティル鑄鉄製橋梁用防護柵

### 1. 安全性

支柱にはダクティル鑄鉄 (FCD-45) を使用し、横梁の主材料には一般構造用鋼材 (STK-45) を使用、設計諸元は「道路橋示方書」「防護柵設置要綱資料集」を満足しており、高い評価を得ている。

材料、強度等から車輦衝突により防護柵破損のための死亡事故がなく、極めて安全といえる。

### 2. 美観性

橋梁の防護柵は近年、地域環境の景観の観点から美観、独自性等が強く要求されてきている。

鑄鉄製防護柵は、支柱の形状についても鑄造の自在性と鑄物の構造美を生かした多様なデザインが可能であり、独自の重厚感のある設計、製造ができる。

### 3. 施工性

現場施工における容易性を十分考慮した設計を行っており、構造的には、レール貫通方式、前面取

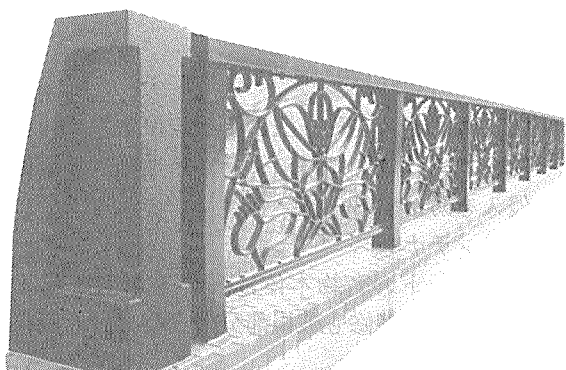


写真-1 田原地区大平小谷線橋  
(大阪府, 住宅・都市整備公団)



写真-2 平井大橋 (首都高速道路公団)

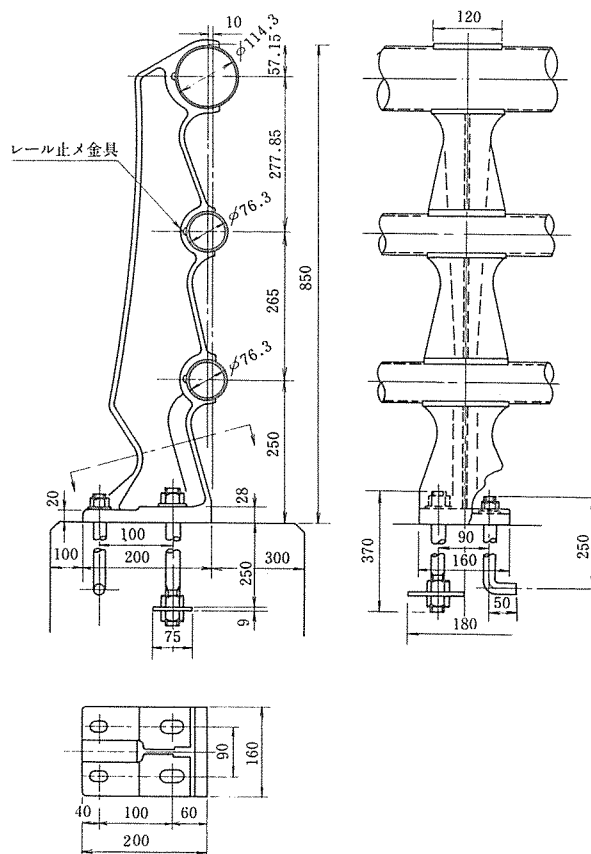


図-1 構造例

付け方式で、短時間に相当量の施工が可能である。

また、ボルト組立による構造上、補修工事等による部分的な取替えも容易である。

### 4. 経済性

耐候性、耐久性に優れているので、後のメンテナンスの観点からみれば経済的である。

また、鑄型による製作のため、特殊デザイン仕様のもなども他の材質のものに比較して安価である。

#### 問 合 せ 先

永鋼産業(株) 東京営業所  
〒111 東京都台東区浅草橋1-27-4  
浅草橋タウンハウス 501  
TEL 03-5687-9547